



時代が求める
新しい価値を創造する

65

65th
Anniversary
Corporate Profile

周年記念会社案内



MANAGEMENT PHILOSOPHY

〔 経営理念 〕

関わるみんなを笑顔にしたい

〔 企業理念 〕

SmileRental

〔 行動指針 〕

◎ **まずは出来る方法を考えよう**

◎ **ありがとうの輪を広げよう**

◎ **自分らしさを大切にしよう**



株式会社ニシケンについて

1960年(昭和35年)、「建設機材レンタル会社」のパイオニアとして誕生して以来、私たちニシケンは建設業界のあらゆるニーズに応えるために力を尽くしてきました。

しかし、社会全体を見渡すと、急速に進展する少子高齢化や環境問題への対応がクローズアップされてきていました。この社会の変化に対して、これまで培ってきた技術やノウハウを生かしながら私たちに出来ることは何かを考えてきました。

そこで1999年、これまでの「建設」に加えて新たに「福祉」の分野で新しく事業を始めました。翌2000年の介護保険制度の施行により、本格的に稼働。福祉事業では、在宅介護の負担や不安を少しでも軽くするために、これまでの「建設」で培ったレンタルのノウハウを生かして介護福祉機器のレンタル卸・販売卸を行い、介護する人・介護される人双方を積極的にサポートしています。

また2003年には、それまで培った高い提案力をもとに環境商品の取扱いを開始しました。熱中症対策に最適なマルチドライミストシステム、省エネと快適空間創造を両立させたウインドウフィルムなど、人と地球の未来のために環境ソリューションを提案しています。

2006年にはペット事業をスタート。ペットによる「癒し」をテーマに「アコルくんのペットショップ」を運営しています。今後ますます進む高齢化社会と核家族化の波を迎え、より一層ペットの存在は大きくなってゆくことでしょう。

社会はこれからも変わり続けるでしょう。しかし、私たちはその変化を常にキャッチしながら新しい時代を築いていきます。

目次

contents

企業理念	01
代表挨拶	03
建設事業	05
福祉事業	09
産業開発事業	11
沿革	13
会社概要	27

Greetings from the president

〈 代表挨拶 〉



笑顔をつなぐ企業を目指して

株式会社ニシケンは、今年11月15日に創立65周年を迎えます。この記念すべき65周年という節目の年を迎えることができましたのも、これまでさまざまな形で当社を支えていただいたお客さまはじめ当社に関わっていただいている皆さまのおかげであり、厚く御礼申し上げます。

当社は、1960年に建設機材レンタル会社のパイオニアとして久留米市で産声を上げて以来、九州に強固な基盤を持つ総合建機レンタル企業へと成長してまいりました。1999年には少子高齢化進展への対応という時代の要請へのソリューションとして福祉関連事業（福祉用具のレンタル卸・販売卸）に進出しました。現在福祉関連事業は建設関連事業と並ぶ当社の二大基幹事業となっており、九州から関東まで営業拠点を拡大しております。近年は第三の基幹事業確立を目指しグラフィック事業等にも注力しております。さらに「One Kyushu」プロジェクトにより、2022年1月にカナモトアライアンスグループの株式会社九州建産と合併、2023年11月に同グループの第一機械産業株式会社と合併、建設関連事業の営業拠点を九州全県（除く沖縄県）に拡大しました。

昨今の世界情勢はVUCAの時代を象徴するかのように数十年に一度と言われる異常気象が恒常化し、2020年初頭からは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的な大流行となりました。2022年2月にはロシアがウクライナに侵攻し、2023年10月にはイスラエル・パレスチナ紛争が始まりました。日本では2024年10月に与党が大敗し、米国では2025年1月に第二次トランプ（自称：タリフマン）政権が発足し、世界はさらに不確実性を増しております。

かかる環境下、当社は創業来脈々と培われたチャレンジ精神を発揮し、市場環境のデジタル変革に適応していくようDXの戦略推進を図るとともに、VUCAの時代においても経営理念「関わるみんなを笑顔にしたい」、企業理念「Smile Rental」を胸に関わる皆さまを笑顔にし、笑顔をつなぐ企業を目指してまいります。

また、2016年3月に業務提携を行ったカナモトアライアンスグループとのコラボレーションを促進していくことにより、重要な社会インフラとしての責務を全うしつつ、さらなる企業価値向上に努めてまいります。

今後、70年、80年、そして100周年に関わる皆さまが笑顔で迎えることが出来るよう、社員一同さらに精進を重ねてまいります。皆さまにおかれましても変わらぬご愛顧並びに御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 田中 誠一

ニシケン3つの柱

建設機械、仮設資材のレンタルを行う建設事業からスタートしたニシケンは、高品質で安全な福祉用具・介護用品のレンタル卸を行う福祉事業、グラフィック事業・ペット事業・コインランドリー運営などを行う産業開発事業、更に2022年、株式会社 九州建産との合併により、建築現場を支える基礎機械や解体機械のレンタルにも進出、さまざまな事業により、地域社会の発展に貢献しております。

現在、ニシケンのサービス拠点は九州・中国・四国・関西から関東まで大きく広がっています。



建機レンタル

市民生活の進化に伴い、土木建設工事には常に新たな機械・機器や技術が求められており、年を追って高度化・多様化が進展しています。私たちニッケンは、そうした多様な土木建設工事のあらゆる場面に対応する建設機械を取り揃えています。

詳しくはこちら



建設機器

■パワーショベル



■橋梁点検車



■高所作業車



■クローラークレーン



■ブルドーザー

舗装転圧機械



仮設トイレ



■発電機



■コンプレッサー

リサイクル機械

これからの建設現場には、環境と再資源化にも配慮した機械が求められています。



移動式休憩車



土木建設機械・仮設資材・計測機器やリサイクル機械をはじめレンタル商品の幅広いラインナップ、そして地域密着のサービス体制で皆様の建設現場を支えます。

仮設資材レンタル

建設現場のスタートは図面作成や強度計算サポートなどの仮設計画からです。工事の安全性、簡便性、経済性を重視し、建設現場に欠かせない内部足場から外部足場まであらゆる仮設資材をレンタル商品として揃えています。建設現場の安全を第一に品質の向上を常に追求しています。

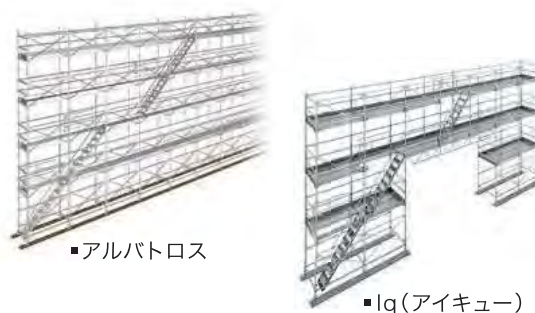
詳しくはこちら



枠組足場



次世代足場



パネル式吊り棚足場工法



内部足場



仮設ユニットハウス・備品



連棟型



単棟型

基礎機械・解体機械レンタル

土木・建築構造物を支える基礎の基礎である基礎機械のレンタルで安全な地盤の基礎工事を強力にサポート致します。また建築構造物を解体する解体専用機を多数ラインナップし、建築構造物のスクラップ・アンド・ビルドのお手伝いを致します。

詳しくはこちら



基礎機械

■ クレーン



■ 地盤改良機



解体機械

■ ロングブーム
解体仕様機



■ ビル解体専用機



■ セパレートブーム解体仕様機



■ 油圧式可変超高周波型



■ ウォータージェットカッター



■ 深ダンプ



■ 大型鋼管回転圧入機
中型鋼管回転圧入機



■ バイプロハンマー



■ ミキシングプラント



■ セメントサイロ



特機レンタル

トンネル施工の環境や作業効率の向上を目指し、先進技術を駆使しながら従来のNATM工法への対応だけでなく、機械掘削、ブレイカー工法、そして新工法、新商品にも目を向け、幅広い商品の提供と迅速なアフターサービスにつとめています。

詳しくはこちら



トンネル仕様車



切羽からのズリ出しに、積み込み作業に、坑内作業に特化した、高い耐久性と信頼性を実現。

バッチャープラント



コンクリートを現場で作るための施設。
トンネルやダム建設工事では、コンクリートを大量に使うため、購入するよりも現場で製造の方が割安になる場合が多く、バッチャープラントが使われます。

情報化施工

情報化施工は、建設事業の調査、設計、施工、監督・検査、維持管理という建設生産プロセスのうち「施工」に注目して、ICTの活用により各プロセスから得られる電子情報を活用して高効率・高精度な施工を実現し、さらに施工で得られる電子情報を他のプロセスに活用することによって、建設生産プロセス全体における生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としたシステムの事です。

詳しくはこちら



ICTとは「Information and Communication Technology」の略で、GPS、無線LAN、インターネット、パソコンなどの情報通信技術を使って自動化を図ることです。ICTを利用することにより建設機械を自動制御しオペレーターの操作を簡略化したり、作業自体の効率化を図ることが可能です。

情報化施工の業務



■パワーショベル
マシンガイダンス
システム



■ブルドーザーマシンコントロールシステム

福祉用具レンタル卸・販売卸

福祉用具レンタル卸としてニシケンが取り扱う商品は介護保険対象の福祉用具が中心で、ご利用者さまの様々な身体状況に合わせて幅広く商品を取り揃えています。福祉用具はご利用者さまが居宅において自立した日常生活を送る上で役立つとともに、介護者さまの負担を軽減するためにも有用な道具です。福祉用具は以下の13品目に分類されます。

詳しくはこちら



主なレンタル商品（福祉用具）



■ 特殊寝台



■ 床ずれ防止用具



■ 歩行器



■ 手すり



■ 車いす



■ スロープ



■ 移動用リフト



■ 自動排泄処理装置



■ 徘徊感知機器

主な販売商品

腰掛便座や自動排泄処理装置の交換部分、入浴補助用具、移動用リフトのつり具部分などレンタルに馴染まない特定福祉用具から、紙おむつや衣類、シルバーカー、口腔ケア用品、その他衛生商品など一般的な介護用品、また住宅改修時に使用する部材など、介護に関わるありとあらゆるものを複数の仕入先の中から最適な物を提案して卸として販売します。

株式会社ニシケンは、首都圏近郊、関西、中国、四国、そして九州の各地域で福祉用具レンタル卸および販売卸を基軸として貸与事業者さまに多様な業務支援ソリューションを提供しています。

｜ メディカル商品レンタル・販売

これまで福祉事業で培ったノウハウを活かし、医療・介護現場で働く方へのサポート事業を展開しております。医療・介護現場で、より使いやすく快適な商品やサービスをご提供し、「支える人にもやさしく」をモットーに、これからも使う人の立場に立った商品をご提案してまいります。

詳しくはこちら



入浴装置



介護支援システム関連



AED(自動体外式除細動器)



移乗サポートリフト



介護ロボット

医療・介護現場での肉体的負担を大幅に軽減。ニシケン介護ロボットの普及に取り組んでいます。



グラフィック事業

クリアで鮮やかな最先端デジタル画像をそのままのイメージで出力し、屋外広告サインや建物の壁面、屋内装飾、車両ラッピングなどの多種多様な媒体に施工します。視覚効果だけでなく、環境の美化までも考慮したグラフィックスで、街並みを鮮やかに演出。少ないコストで高いPR効果を発揮できる斬新な広告サインを実現します。

また、ニシケンのグラフィック事業ではサイン業者様向けインクジェット出力・インクジェット関連資材販売（専用サイト：インクジェット・ナビ）も行っています。当社施工ネットワークを活用し全国の施工管理を行います。

詳しくはこちら



各種メディアの出力サービス



- 車両ラッピング用シート
- 屋外看板用シート
- 電照看板用シート
- ウィンドウサイン用シート
- タペストリー・横断幕・懸垂幕用シート
- グラウンド・フロア用シート

現場工事・施工管理



車両ラッピングやウィンドウフィルムなど、高い技術力と経験で様々な施工を行っています。またウィンドウフィルムなどの地震などによるガラス破損時の破片の飛散・落下防止対策や、ガラスの破壊・侵入に対する防犯対策、夏場の省エネ対策などニーズに合ったアイテムをご提案します。

様々な加工に対応！



- 横断幕・懸垂幕
- 「ラミネート加工」+「貼り込み」+「寸法カット」サービス
- 「看板本体」+「シート印刷」+「ラミネート加工」+「貼り込み、差し込み」サービス など

各種機器・メディアの販売



様々なメーカーの業務用インクジェットマシンやインクジェット用材料、デジタルサイネージ、ソフトウェアの販売を行っています。御社に最適なインクジェットマシンなどをご提案させていただきます。

グラフィック課

〒839-0804 福岡県久留米市宮ノ陣町若松1番地の9(北別館)
TEL 0942-35-5960 / FAX 0942-35-5963

グラフィック課福岡店

〒818-0131 福岡県太宰府市水城 3-6-18(株)ニシケン 太宰府営業所内)
FAX 092-403-5088

ペット事業

私たちニシケンとは人とペットが共に生きるための楽しく健康的な関係づくりのお手伝いをします。そのためニシケンではペットグッズ販売・ペット美容・ペットホテル・セルフ式バスシステム・ドッグランなどを取り揃えた「アコルくんのペットショップ」を運営しています。(生体は販売しておりません。)

詳しくはこちら



ペット美容(トリミング)

経験豊富なプロのトリマーがワンちゃんのお世話をいたします。



ペットグッズ販売

専門知識が豊富なスタッフがお客様をお待ちしています。



ペットホテル

大切なご家族を安心してお預けください。



セルフ式愛犬用シャワー「ワンズバス」

小型犬から大型犬まで対応可能。



ペット用コインランドリー

ワンちゃん、猫ちゃん専用ですので気兼ねなくご利用頂けます。



ドッグラン

広々とした屋上でワンちゃんを自由に遊ばせることができます。



コインランドリー

365日24時間営業でいつでもご利用可能。カフェスペース・キッズスペース完備のお洒落なコインランドリーです。お湯洗い・柔軟剤3種・靴洗い機など取り揃えています。スマホで空き状況確認・運転終了通知など便利な機能満載。

詳しくはこちら



24時間営業365日営業

24時間365日休まず営業だからいつでもご利用が可能です。



キッズスペース完備

小さなお子様を遊ばせながら、ゆっくりとお洗濯ができます。



カフェスペース

待ち時間はゆっくりカフェスペースでのんびりできます。



「建設機材レンタル会社」のパイオニアとして

西日本建設資材株式会社 誕生

(現:株式会社ニシケン)



初代社長 山下 隆

敗戦から15年。日本経済は1960年代に入ると、その前の朝鮮戦争特需―神武景気―岩戸景気を経て驚異的な高度経済成長期に入った。1960年には池田内閣が「国民所得倍增計画」を打ち出すなど、60年代の実質経済成長率は年平均約10%を達成し続けた。国民の間では「テレビ・洗濯機・冷蔵庫」が3種の神器ともてはやされ、市中ではビルが続々建設され、また道路などのインフラが急ピッチで整備されていった。

もちろん建設業界もこの好景気に支えられ業績を急速に伸ばし続けたが、その一方で最先端工事技術を導入するには莫大な設備投資を要し、その資金負担にあえいでいた。時代はさらなる発展を求め、建設業界が担うべき役割はさらに重くなっていた。それは時代のニーズであり、何としても設備投資負担に耐えなければならなかった。

そんな業界のジレンマを打破すべく、建設機材レンタル会社が1960年11月、久留米市で誕生した。「西日本建設資材株式会社」、現在の「ニシケン」である。資本金500万円、社員5人でのスタートであった。「建設機材は必ずレンタルの時代が来る」―山下隆・初代社長の見通しに狂いはなかった。その言葉どおり、会社設立から順調に業績を伸ばし、設立から5年目で売上高1億円を突破。当時の業界において、この成長は驚異的だった。資本金も2,500万円(1965年)、4,500万円(1969年)と順次増資したほか、現場の声に応え、コンクリートポンプ車をはじめ新しい機械も次々と導入していったのである。



◀1960年11月17日 創立総会

ニシケンのあゆみと国内外の出来事

社会情勢

- 池田勇人内閣が成立
- ローマ夏季オリンピック・パラリンピック開幕
日本体操男子団体総合で優勝
- カラーテレビ放送開始
(NHK東京・大阪他4局で)
- 政府 国民所得倍増計画を発表

1960

当社の動き

- 11月 ● 建設機械及び仮設材の貸与と建設資材の販売を目的として
福岡県久留米市築島新町18番地1に
西日本建設資材株式会社を設立



1960年 西日本建設資材株式会社を設立

- ジョン・F・ケネディ氏 米大統領に就任
- ソ連 世界初の有人宇宙飛行に成功
ガガーリン氏帰還第一声「地球は青かった」
- 米国 有人ロケット打ち上げ回収に成功
- 鹿児島本線門司港～久留米間電化工事完成

1961

- 3月 ● 「NKS社報」創刊、株主へ商況報告
- 4月 ● 福岡出張所(のち、営業所に昇格)を開設
- 11月 ● 5カ年計画作成
● ニシケン社員会発足

- ニューヨーク株価大暴落
1929年10月以来の大幅安
- 北陸本線北陸トンネル開通
(13869m日本最長)
- 戦後初の国産旅客機YS11テスト飛行に成功
- 若戸大橋(2068m当時東洋一の吊り橋)完成

1962

- 2月 ● 本社を福岡県久留米市天神町
244番地に移転
- 4月 ● 資本金1000万円に増資



1961年 福岡出張所開設時の様子

- 北九州市誕生
(門司・小倉・戸畑・若松・八幡5市合併)
- 新大分市誕生
(大分・鶴崎など6市町村が合併)
- 三井三池炭坑で炭塵大爆発
死者458人 重軽傷者555人
- ケネディ米大統領暗殺される

1963

- 10月 ● 資本金2000万円に増資

- 東海道新幹線開業
- 九州横断道路(やまなみハイウェイ)全線開通
- 東京夏季オリンピック・パラリンピック開幕
- 佐藤栄作内閣が成立

1964

- 3月 ● 福岡営業所を移転開設
● 建設業者登録申請
● フジ軽鋼梁販売開始



1964年 福岡営業所を移転開設

- 三井山手鉱(福岡県)でガス爆発
死者237人
- 名神高速道路全線開通
- 朝永振一郎氏 ノーベル物理学賞受賞
- 日本OECD常任理事国に決定

1965

- 9月 ● 資本金2500万円に増資
● 総売上高1億円突破
- 10月 ● コンボ、ユニバーサルリフト購入

- メートル法完全実施
- 天草五橋開業
- 東京・大阪証券取引所 戦後初の国債上場
- 厚生年金基金制度施行

1966

- 1月 ● 生コンクリート圧送工事請負業を開始
● コンクリートポンプ車を導入
- 11月 ● 資本金3500万円に増資



1966年 コンクリートポンプ車を導入

- 第2次佐藤栄作内閣が成立
- 第3次中東戦争勃発(6日戦争)
- 東南アジア5カ国が東南アジア諸国連合
(ASEAN)結成

1967

- 5月 ● 佐賀出張所を開設
- 6月 ● 鳥栖工場を開設 パネル生産開始

- 霞ヶ関ビル完成(147m超高層ビルの先駆け)
- 政府 水俣病を公害病と認定
- 川端康成氏 日本人初のノーベル文学賞受賞
- 東京都府中市の路上で現金輸送車襲われる
(3億円事件)

1968

- 東京大学構内へ機動隊突入
安田講堂など封鎖解除
- FBS福岡放送など民放UHF局放送開始
(九州5社)
- 福岡空港ターミナルビル竣工
- 米宇宙船アポロ11号 月面着陸に成功
(人類月に立つ)

1969

- 5月 ● 資本金4500万円に増資



1970年 大分営業所を開設

- 日本初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げ成功
- 日本万国博覧会開幕
(9月13日迄 総入場者数6421万人)
- 日航機 赤軍派学生にハイジャックされる
(よど号事件)
- 鹿児島本線熊本～鹿児島間電化完成

1970

- 1月 ● 大分営業所を開設
- 11月 ● 創立10周年記念式典、祝賀会を開催
● 仮設材の大量増備

創立者山下社長から二代目稲富社長の時代へ

株式会社 西建へ社名変更 高度経済成長の波に乗る



二代目社長 稲富 勲

「常にパイオニアとしての使命を果たす」—会社設立以来の、この理念を胸に深く刻み、当時としては類例がない建設機材レンタルに対して試行錯誤を繰り返しながら建設現場のニーズに合わせ新機材を次々と導入し、順調に成長を続けた。1972年には資本金を6,500万円に増資し、さらに久留米市東櫛原町に新本社社屋が完成した。

翌1973年には、思わぬ出来事に相次ぎ見舞われた。本社近郊を流れる筑後川が大雨によって氾濫。完成したばかりの社屋が浸水被害にあった。さらに第1次オイルショックが襲ってきた。原油価格は一挙に約4倍に跳ね上がり、安い原油を頼りに走り続けてきた日本経済を直撃。ここで高度成長は終わり、安定成長期に入っていたのである。

日本にとっても当社にとっても試練の時であったが、ただこの年に総売上高は10億円を突破した。また熊本県に初めて進出するなど各地に営業所を相次ぎ開設したほか、レンタル機材の増備を図るなど、なお成長路線を走り続けた。事実、初代山下社長に代わり、稲富勲が二代目社長に就任した1977年には総売上高が15億円を突破した。

その稲富社長は、山下社長時代に培ってきた信頼と技術、そして優れた人材をもとに「地域のためになる体制づくり」を目指し、翌1978年には社名を「西建」に変更した。すでに会社設立以来、お客様の幅広くから「西建」と呼ばれ親しまれていたのを、正式に社名にしたのだ。これも「地域のために…」との思いにつながっている。

稲富社長の下で1980年11月に創立20年。この年の資本金は1億5,000万円にまでなっていた。



◀1972年 東櫛原町に新社屋完成

ニシケンのあゆみと国内外の出来事

社会情勢

- 新熊本空港開港
- 西新宿に京王プラザホテル完成
(170m新宿高層ビル街の先駆)
- 天皇・皇后両陛下、ヨーロッパ7カ国親善訪問
- 新大分空港開港

1971

当社の動き

- 札幌冬季オリンピック開幕
(日の丸飛行隊活躍)
- 福岡市 政令指定都市となり区制施行(5区制)
- 新鹿児島空港開港
- 田中角栄内閣が成立

1972

- 5月 ● 資本金6500万円に増資
- 佐賀営業所を移転
- 10月 ● 本社を福岡県久留米市東櫛原町
892番地に移転

- 全国銀行データ通信システム稼働開始
- 江崎玲於奈博士 ノーベル物理学賞受賞
- 熊本市大洋デパート火災(死者104人)

1973

- 3月 ● 仮設材のケレン作業開始
- 熊本営業所を開設
- 久留米櫛原地区大水害で
本社が浸水被災
- 総売上高10億円突破
- 貸与機材の増備

- 日本の人口が1億1千万の大台へ
- 巨人軍長嶋茂雄氏 現役引退
- 佐藤栄作元首相 ノーベル平和賞受賞

1974

- 3月 ● 大牟田出張所(現 大牟田営業所)
を開設
- 日田出張所(現 日田営業所)
を開設
- 9月 ● 移動式枠組足場の実用新案出願

- サッチャー女史、英保守党党首に選ばれる
- ベトナム戦争終結
- 米ソ宇宙船アポロとソユーズ
大西洋上空でドッキングに成功
- 国勢調査 福岡市の人口100万人を超える

1975

- 2月 ● 社員の定年制を制定60歳とする

- 超音速旅客機コンコルド初就航
- 鹿児島で日本初の5つ子誕生
- ロッキード事件で田中角栄元首相
逮捕される
- 福岡市天神地下街完成
(西日本初の本格地下街)

1976

- 5月 ● 北九州出張所を開設
- 6月 ● 資本金8500万円に増資
- 11月 ● コンピューター導入

- 北海道有珠山が大噴火
- 王貞治氏 本塁打世界最高記録756本樹立
- 日本赤軍 日航機をハイジャック
釈放犯6人ダッカへ

1977

- 3月 ● 創立者山下隆社長退任、
二代目社長に稲富勲就任
- 9月 ● 第一機械産業株式会社設立
- 11月 ● 大分営業所を新築移転
- ハッチャバイ導入、コンクリートモービル導入
- 総売上高15億円突破

- 伊豆大島近海でM7.0の地震発生
- 東京池袋に超高層ビル
「サンシャイン60」オープン
- 新東京国際空港(成田空港)開港
- 日中平和友好条約、北京で調印

1978

- 3月 ● 福岡コンクリートポンプ協同組合
(現 福岡・佐賀コンクリートポンプ
協同組合)設立
- 4月 ● 商号を株式会社西建に変更
- 8月 ● 鳥栖センターを開設
- 11月 ● 福岡営業所を支店に昇格

- 米国、中国と国交を樹立
- NEC PC8000シリーズ発表
パソコンブームの口火に
- 元号法公布施行(元号の法制化)

1979

- 3月 ● 唐津出張所(現 唐津営業所)を開設
- 11月 ● 北熊本営業所を開設

- モスクワ夏季オリンピック
米日西独などボイコット
- 福岡都市高速道路部分開業
- 王貞治氏通算本塁打868本で現役引退
- 元ビートルズのジョン・レノン氏射殺される

1980

- 2月 ● 中津営業所を開設
- 4月 ● 大分に第二機材センターを設立
- 5月 ● 資本金を1億5000万円に増資
- 筑後コンクリートポンプ協同組合設立
- 9月 ● 経年仮設機材管理基準工場の
認定を受ける
- 10月 ● 創立20周年行事として大運動会を実施
- 11月 ● 創立20周年祝賀会を開催



1973年 熊本営業所を開設



1973年 大水害にあった新本社



1977年 第17期株主総会



1978年 鳥栖センターを開設



1980年 創立20周年祝賀会を開催

二代目稲富社長のもと

株式会社 西建(旧社名)は、 着実な成長を続ける



1982年 建設機械大展示会

2度にわたるオイルショックを克服した日本経済は、もはや高度成長時代ほどの成長を遂げることはなかったが、それでも4%前後の経済成長率を維持していた。ところが、1985年に突然、日本経済を異変が襲った。プラザ合意により円高が急速に進行。1ドル240円前後だった為替レートが、わずか1年あまりの間に一気に120円前後になってしまったのだ。輸出産業に頼る日本経済には大打撃であり、日銀は円高不況を乗り切るため公定歩合をかつてない水準まで引き下げた。これが引き金となったのが、バブル景気である。これに伴い、余った金が市場に流れ出し、建設業界も過熱といえるほどの活況を呈した。

こうした状況下、稲富社長は、「必要なモノを必要な時に、必要な場所に」というサービス理念を掲げ、日田、竹田、八女、武雄、伊万里、熊本、佐世保、大分など各地に営業所を開設し、サービスエリアの充実を図った。また、高所作業車、大型パワーショベルなどのレンタル機材を次々導入、さらに1987年には仮設トイレ・ハウスのレンタルを目的とする「株式会社ユニオン」を設立(1991年に吸収合併)するなど、一段と業務を拡大していった。

つまり、市場の活況に合わせ、「質と量」の拡充に注力していったわけである。この時代にあって、こうした戦略は的を射たものであり、1990年には売上高が77億円を記録した。1985年の売上高37億円から、1980年代後半のわずか5年間で売上高は2倍強という高成長ぶりを示したのである。



◀1990年 久留米市に救急車を寄贈

ニシケンのあゆみと国内外の出来事

社会情勢

- 米スペースシャトル1号機「コロンビア号」打ち上げ成功
- 福岡市営地下鉄 天神一室見間開業
- 住宅・都市整備公団法公布施行
- 福井謙一京大教授ノーベル化学賞受賞

1981

当社の動き

- 2月 ●武雄営業所を開設
- 4月 ●熊本センターを開設
- 5月 ●鳥栖センターに塗装ライン完成
- 8月 ●久留米南営業所を開設

- 東京・赤坂のホテルニュージャパンで火災 死者33人
- 福岡発日航機が羽田沖で墜落 死者24人 九州関連被災者多数
- 新500円硬貨発行
- コンパクトディスク(CD)とプレーヤー発売される

1982

- 4月 ●久留米支店を本社より分離開設
- 建設機械大展示会を開催
- 8月 ●北九州支店を開設

- 青函トンネル(53.9km世界最長)先進導坑貫通
- 日本初の実用通信衛星 種子島宇宙センターから打ち上げ
- 東京ディズニーランド開園
- 日本海中部地震 秋田県沖でM7.7の地震発生 津波で死者・行方不明者104人

1983

- 9月 ●日田営業所を開設
- 建柱車・高所作業車・投光車などのレンタルを開始

- 冒険家植村直己氏 マッキンレー登頂後消息を絶つ
- グリコ・森永事件
- NHK衛星テレビ放送開始
- ロサンゼルス夏季オリンピック開催

1984

- 2月 ●タイ王国に合併会社タイ西建を設立
- 9月 ●同業者に先駆けてパワーショベル0.7mを導入

- 北九州モノレール小倉線開業(日本初の都市モノレール)
- 日本電信電話株式会社(NTT)、日本たばこ産業株式会社(JT) 発足
- 男女雇用均等法公布
- 日航機 群馬県山中に墜落 生存者4人 死者520人

1985

- 10月 ●創立25周年を記念して 西建ジャンボフェア25を開催
- 11月 ●西友リース株式会社設立

- 米スペースシャトル・チャレンジャー発射直後爆発 乗員7人死亡
- 新国民年金制度スタート
- ソ連のチェルノブイリ原発事故、世界に深刻な影響
- 先進7カ国首脳会議(東京サミット)開催

1986

- 3月 ●長崎センターを開設
- 4月 ●大分支店及び大分センターを移転

- NTT株上場 買い注文殺到で初値付かず
- JR九州スタート
- 利根川進博士 日本人として初のノーベル医学・生理学賞受賞
- ニューヨーク株式市場22.6%の大暴落(ブラックマンデー) 1929年の大恐慌時を上回り 東京・ロンドン・パリなどに波及

1987

- 4月 ●北九州センターを開設
- 8月 ●熊本支店を移転
- 10月 ●「株式会社ユニオン」を設立
- 12月 ●福岡センターを開設
- 鳥栖出張所(現 鳥栖営業所)を開設

- 青函連絡船が航海の幕を閉じ、青函海底トンネル開業
- 東京ドーム完成
- 福岡ダイエーホークス発足 平和台球場に本拠地移転

1988

- 12月 ●佐世保営業所を開設

- 昭和天皇崩御
- 元号を平成と改元
- アジア太平洋博覧会福岡89(よかトピア)始まる
- 消費税導入
- 中国 天安門事件

1989

- 1月 ●株式会社九州建産設立
- 3月 ●長崎支店を開設
- 伊万里出張所を開設

- 日本初の宇宙テーマパーク「スペースワールド」が北九州市にオープン
- 第45回とびうめ国体が福岡県で開催
- ベルリンの壁崩壊

1990

- 1月 ●労働時間短縮を目的とする 4週6休制の導入
- 3月 ●資本金3億6500万円に増資
- 4月 ●那珂川イカダ祭り「西建号」優勝
- 筑後川イカダフェスティバル「西建号」準優勝
- くるめ水の祭典にそろばん踊りで参加
- 筑後川花火大会に参加
- 8月 ●長崎センターを移転
- 佐世保営業所を移転
- 9月 ●伊万里営業所を移転
- 11月 ●創立30周年記念式典を開催
- 久留米市に救急車寄贈



1985年 西建ジャンボフェア25を開催



1986年 長崎センターを開設



1990年 筑後川花火大会に参加



1990年 くるめ水の祭典にソロバン踊りで参加



1990年 創立30周年記念式典を開催

二代目稲富社長から三代目水田社長の時代へ

社会環境変化を見据えて 福祉事業をスタート



三代目社長 水田 明義

いざなぎ景気にも匹敵する長いバブル景気は、1990年をピークに瞬く間に崩壊した。以後、日本経済は平成不況と呼ばれる長期の不況に苦しむことになった。しかし当社は、引き続き1980年代後半からの勢いを保持していた。1992年には本州進出の足がかりとして広島県山県郡に営業所を開設（2006年に広島市内へ移転）、また1997年には南九州の拠点として宮崎県西都市に営業所を開設した。この1997年は、全社員が念願とした売上高100億円を達成した記念すべき年となった。

翌1998年に稲富社長が退任し、三代目社長として水田明義が就任した。この頃になると、バブル崩壊後の長期不況により、経済、社会情勢は激変し、日本は戦後改革に匹敵する大きな変化に直面していた。ここで水田社長は、「環境変化を先取りしたトータルソリューション企業へ」とのビジョンを掲げ、改革に着手した。まず、市場の多様化に対応するため株式会社セイユーと合併。セイユーが手掛けてきたトンネル工事用機械のレンタルを開始した。また本社を久留米市宮ノ陣町に移転するなど矢継ぎ早に手を打った。

2000年の介護保険制度の施行と同時に、福祉事業に本格的に参入。「少子高齢化」という社会情勢に対応した事業展開であり、まさに「環境変化を先取りする」水田社長のビジョンを具現化したものといえる。この福祉事業への参入は、建設業界の発展と共に歩んできた当社にとって、記念すべきマイルストーンとなった。



◀1998年 宮ノ陣町に新社屋落成

ニシケンのあゆみと国内外の出来事

社会情勢

- 多国籍軍 イラクに武力行使(空爆開始)
湾岸戦争突入
- 雲仙普賢岳で大火砕流発生
死者・行方不明者43人
- 政府 国家公務員の完全週休二日制
92年度より実施を決定

1991

当社の動き

- 1月 ● 大分支店を移転
- 5月 ● 「株式会社ユニオン」を吸収合併
- 10月 ● 本社研修ホール落成
- 12月 ● ハウスセンターを移転
● 工事部を移転
● 作業台車を購入



1997年 西建ファミリーフェスタ97を開催

- 佐世保市郊外に新テーマパーク
「ハウステンボス」オープン
- 毛利衛氏ら7人の宇宙飛行士
米スペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ

1992

- 2月 ● 鳥栖営業所を移転
- 3月 ● 初代社長山下隆社葬

- 日本初の屋根開閉型ドーム
福岡ドーム完成
- 皇太子徳仁親王御成婚の儀
- 田中角栄元首相死去

1993

- 5月 ● 移動式コンクリートガラリサイクル
事業の営業開始
- 11月 ● 武雄営業所を移転

- 名古屋空港で中華航空機墜落 死者264人
- ドーバー海峡トンネル完成 開通式挙
- 北朝鮮金日成主席死去 金正日体制へ
- 大江健三郎氏 ノーベル文学賞受賞

1994

- 9月 ● 福岡営業所を移転
- エースランド工法導入



1998年 久留米市にリフトカーを寄贈

- 兵庫県南部、阪神地区にM7.3の直下型地震、
神戸市中心部など壊滅的被害、
死者・行方不明者6437人超、損壊家屋10万棟以上
- 営団地下鉄に、サリンまかれる
- Windows95日本語版、発売される

1995

- 9月 ● 福岡営業所を移転

- O-157、各地で大流行
- 英チャールズ皇太子とダイアナ妃が離婚を
正式発表
- アトランタ夏季オリンピック・パラリンピック開催
- 広島島の原爆ドーム、厳島神社が世界文化遺産登録
- ベルー日本大使公邸事件

1996

- 5月 ● タイ王国に合併会社メックスを設立
- 6月 ● 台車センターを移転
- 10月 ● 営業推進室と軽機械センターを移転
● ゴルフ愛好会「NKS会」発足
● パソコンを活用した新システム導入



1999年 西建ドリームフェア99を開催

- 消費税率が5%に引き上げられる
- リマの日本大使公邸占拠事件が特殊部隊の
突入により解決される
- 米の火星探査機マーズ・パスファインダーが
火星に到着
- ダイアナ元皇太子妃が交通事故死

1997

- 2月 ● 作業車レンタル部発足
● 総売上高100億円突破
● 社内の電子メールが実用化
- 5月 ● 西建ファミリーフェスタ97を開催
- 11月 ● 北九州センターを移転
● 福岡センターを移転

- サッカー日本代表ワールドカップ・フランス
大会初出場
- 石川県畜産総合センターで
「体細胞クローン牛」が誕生
- マーク・マグワイア選手が70本のホームラン
大リーグ記録を樹立

1998

- 3月 ● 二代目社長稲富勲退任、
三代目社長に水田明義就任
- 5月 ● 株式会社セイユーと合併
● 各部門の営業管理を統括し
三本体制での機構改革を実施
- 8月 ● 本社を福岡県久留米市宮ノ陣町若松
1番地の9に移転
● 本社新社屋落成記念式典を開催
● 株式会社テクノセコ設立
● エヌケイエンジニアリング株式会社設立
● 久留米市にリフトカーを寄贈
- 9月 ● 筑豊営業所を開設
- 12月 ● レンタル西日本株式会社を設立



1999年 福祉事業スタート

- 厚生省が性的不能治療薬「バイアグラ」を承認
- 臓器移植法施行後初の脳死移植が実施される
- 福岡ダイエーホークス リーグ初優勝・
日本シリーズ制覇

1999

- 5月 ● 合併記念合同展示会開催
- 7月 ● 福祉事業部を設置
- 8月 ● 建設柳川営業所を開設
- 12月 ● 長崎センターと時津営業所を統合し
建設長崎営業所に改称



2000年 創立40周年記念式典を開催

- 北海道有珠山が噴火
- 東京都三宅島が噴火
- 福岡ダイエーホークス リーグV2
- シドニー夏季オリンピックで女子マラソン
高橋尚子選手が日本女子陸上初の金メダルを
獲得

2000

- 5月 ● 創立40周年記念社員旅行(北海道)
- 7月 ● 開発事業部を設立し、ソフト販売に参入
● パワーフレーム事業部を開設
- 10月 ● 建設久留米南営業所を移転
- 11月 ● 創立40周年記念式典を開催

「未来ビジョン」への新たな挑戦

新産業の拡大のもと 全国へ進出



2001年 総合センターを開設



2001年 グラフィック事業スタート

2001年、21世紀を迎えた西建は社名を漢字の「西建」からカタカナの「ニシケン」に変更し、トータルソリューション企業としての方向性を明確にした。この社名変更は、「第二の創業」を意味し、ここから社会環境変化を見据えた事業展開が急速に進んでいった。

さらに2001年、レンタル業として品質水準のさらなる向上を目指し、佐賀県みやき町に総合センターを開設。同センターは、主に建設事業の整備と物流の拠点として活用している。また同年、グラフィック事業を開始。大型室内外広告サインやバスラッピングなどを企画製作するこの事業は、あらゆる業界が顧客となる可能性を秘め、建設以外の分野でのニシケンブランドの浸透に寄与している。

2003年には環境事業をスタート。各種環境関連機器のレンタル・販売を開始した。そして2006年、新たに「NEWニシケン未来ビジョン」を発表し、RE-DESIGN(事業構造の再設計)を2010年の創立50周年を機に進めた。

またこの年、ペットグッズ販売や愛犬のためのコイン式バスシステムの運営、トリミングをはじめとするペット美容を行うペット事業(店舗名:アコルくんのペットショップ)をスタートした。

21世紀になって事業領域は「建設」という枠を超えて福祉や環境におよび、あらゆるニーズに対応する総合レンタル企業へと成長。さらにグラフィックやペット産業にも進出。地域に根ざす「トータルソリューション企業」「環境社会適応型企業」へと進化していった。



◀2006年 水田社長「経営者賞」受賞

ニシケンのあゆみと国内外の出来事

社会情勢

- 中央省庁再編
1府22省庁から1府12省庁へ
- 小泉純一郎内閣が成立
- 狂牛病問題
- 9.11米同時多発テロ
- 皇太子妃雅子さま 女兒(愛子さま)ご出産

2001

当社の動き

- 1月 ● 商号を株式会社ニシケンへ変更
- 株式会社ニシケン物流を設立
- 有限会社エヌケイクリーン
(のちニシケンテック)を設立
- 3月 ● 建設大牟田営業所を移転
- 7月 ● ISO9001:2000認証取得
- 9月 ● 宮崎支店(現 建設延岡営業所)開設
- 総合センター(現 久留米仮設営業所)を開設
- 10月 ● ISOコンサル事業部を設置
- 12月 ● グラフィック事業部(現 グラフィック課)を設置



2004年 上海研修旅行

- ソルトレークシティ冬季オリンピック・パラリンピック開催
- 日本代表、日韓共催ワールドカップでベスト16進出
- 小柴昌俊氏(東大名誉教授)ノーベル物理学賞受賞
- 田中耕一氏(島津製作所エンジニア)ノーベル化学賞受賞

2002

- 1月 ● 福岡センターを開設
- 9月 ● 福祉鹿児島営業所を開設



2006年 ペット事業スタート

- テレビ放送開始50周年 地上デジタル放送開始
- 阪神タイガース、18年ぶりにリーグ優勝
- 松井秀喜外野手、大リーグニューヨークヤンキースと入団契約

2003

- 1月 ● ニシケンキャラクター「アコルくん」誕生
- 4月 ● ニシケン未来ビジョン策定
- AG風土改革3PS運動開始
- 12月 ● ソリューション事業部を設置

- 米国産牛肉輸入禁止で牛丼販売中止
- イチロー氏 大リーグ年間最多安打記録更新
- 新潟県中越地震発生
- 日本国通貨20年ぶりの新札発行

2004

- 1月 ● 中長期五カ年経営計画発表
- 4月 ● 全国縦断オンラインワン企業視察セミナー来社
- 5月 ● 上海研修旅行
- 7月 ● AG風土改革3PS運動総決起大会
- 8月 ● 建設・福祉博多営業所を開設
- 10月 ● NK式植物工場起工式
- 11月 ● 福祉山口営業所を開設

- 福岡県西方沖地震発生
- 日本国際博覧会(愛知万博)が開幕
- 千葉ロッテマリーンズ、31年ぶりに日本一
- 紀宮さま ご成婚

2005

- 8月 ● 第346回筑後川花火大会協賛
- 11月 ● NK式植物工場育苗式
- 日本植物工場学会九州支部大会
工場見学会来社
- 福祉飯塚営業所(現 福祉筑豊営業所)を開設



- ライブドア事件
- トリノ冬季オリンピック・パラリンピック開催
- フィギュアスケートの荒川静香選手金メダル
- 新北九州空港開港
- 安倍晋三内閣が成立

2006

- 2月 ● 福祉都城ポート(現 都城営業所)を開設
- 4月 ● 水田社長「経営者賞」受賞
- NEWニシケン未来ビジョン策定
- ペット事業をスタート
- 7月 ● 建設・福祉中津営業所を開設
- 10月 ● 福祉福山ポート(現 福祉福山営業所)を開設
- 企業行動憲章を制定

- 宮崎県知事選挙で
東国原英史氏(そのまんま東)が当選
- 福田康夫内閣が発足
- 日本郵政公社民営化

2007

- 3月 ● ニシケン物流と統合し、
新生ニシケンテックが発足
- 5月 ● 建設・仮設植木営業所を移転
- ニシケン人材センター発足
(ニシケンファームより社名変更)
- 6月 ● 福祉岡山ポート(現 福祉岡山営業所)を開設
- 7月 ● ネットサービス事業をスタート
- 建設熊本営業所を開設
- 8月 ● 建設久留米南営業所を開設
- アコルくんのペットショップ久留米南店
(現久留米店)を開設
- 11月 ● 建設日田営業所を移転
- 12月 ● 建設伊万里営業所を移転
- 福祉鹿児島ポート(現 福祉鹿児島営業所)を移転
- 2008年度機構(組織)改革発表



2010年 創立50周年記念未来創造展を開催

- 北海道・洞爺湖サミット開催
- 北京夏季オリンピック・パラリンピック開催
- ソフトバンクホークスの王監督勇退
- 麻生太郎内閣が発足

2008

- 2月 ● 王理恵さん起用アクリル事業TVCM放映開始
- Jリーグクラブチームサガン鳥栖の
オフィシャルスポンサー協賛
- 3月 ● 建設・仮設早良営業所
(現 建設早良営業所)を開設
- 6月 ● 福祉宮崎営業所を開設
- 7月 ● 建設久留米東営業所を開設
- 8月 ● 未来会発足
- 9月 ● BCM(事業継続)発表
- 10月 ● 福祉岡山工場を開設



2010年 創立50周年記念祝賀会を開催

- バラク・オバマ氏がアメリカ合衆国の
第44代大統領に就任
- 第45回衆議院議員総選挙で民主党が圧勝
- 鳩山由紀夫内閣が発足

2009

- 4月 ● 建設・福祉佐賀営業所を移転
- 11月 ● 建設神埼営業所を開設
- 女子社員・サービス営業・
整備各部門別研修会開催

- バンクーバー冬季オリンピック・パラリンピック開催
- 上海国際博覧会開催
- 菅直人内閣が発足
- 小惑星探査機はやぶさ地球に帰還
- 尖閣諸島中国漁船衝突事件

2010

- 4月 ● 大阪支社(現 福祉東大阪営業所)を開設
- 2010年度機構(組織)改革発表
- 6月 ● 福祉大阪堺営業所を開設
- 8月 ● 福祉大分店(現 福祉大分営業所)を移転
- 9月 ● 「創立50周年記念未来創造展
(新工法)(新技術)「総力結集」
未来への取り組み」開催
- 福祉西宮営業所を開設
- 福祉鹿児島営業所を移転
- 久留米市へ電気自動車を寄贈
- 10月 ● 創立50周年記念未来創造展を開催
- 11月 ● 創立50周年記念祝賀会を開催
- 福祉長崎店を移転



2010年 久留米市へ電気自動車を寄贈

カナモトとの資本業務提携を締結

カナモトアライアンスグループの一員として新生ニシケンスタート



四代目社長 栗山 広一郎



五代目社長 長崎 学



六代目社長 田中 誠一

2012年、水田明義が社長を退任し会長に就任、四代目社長として栗山広一郎が就任した。栗山社長は、関連会社の再編など機構改革を進め、事業間の垣根を超えたシナジー創出に努めた。なかでも、福祉事業の営業拡大をはかるため、関西・中国地方への拠点進出を推し進めた。2013年には新たに産機事業をスタートさせ、新規顧客層の開拓に努める等、「攻め」の経営を展開した。また、顧客満足度を高めるため、コールセンターを設けることで迅速な顧客対応をはかり、業績は順調に伸び続けた。

1990年代以降、中国・韓国・東南アジアを中心にアジア経済は大きく発展した。「アジアの玄関口」として九州では、福岡、北九州、熊本の政令指定都市を中心に大型開発プロジェクトが進む一方で、あらゆる産業分野で業界大手が挙って九州に進出し、地場企業を傘下に置くなど「群雄割拠」の時代を迎えた。建機レンタル業界においても、その例外ではなかった。このようななか、九州でのシェア拡大を目指す東証一部（現プライム）企業で建機レンタルトップクラスの株式会社カナモトと、既存市場の保持と福祉事業の拡大を目指す当社は、2016年3月に資本業務提携した。当社は「カナモトアライアンスグループ」の一員として新たな一歩を踏み出したのである。

栗山広一郎が社長を退任し会長に就任、五代目社長として長崎学が就任した。長崎社長はカナモトアライアンスグループと連携を強めるとともに、2018年2月にはフジモトHD株式会社よりピップケアウェル安心株式会社（のち、商号を「ケアウェル安心株式会社」に変更）の全株式を取得し、福祉事業の首都圏への営業強化に努めた。業績は大幅に伸び、2019年には念願の売上高200億円を突破し過去最高の業績となった。

2020年1月に、長崎学が社長を退任し、六代目社長として田中誠一が就任した。この年、全世界に猛威を振るった新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年の業績は減益となったものの、売上高は過去最高を更新し健闘した。田中社長は、「withコロナ」の時代と市場環境のデジタル変革に適応していくようDX（デジタルトランスフォーメーション）戦略の推進構築を掲げ、これからも進化し続ける企業「ニシケン」の礎を作った。

ニシケンのあゆみと国内外の出来事

社会情勢

- 東日本大震災
- 九州新幹線開業
- サッカー女子ワールドカップで日本代表が初優勝
- 野田佳彦内閣が発足

2011

当社の動き

- 4月 ● 福祉広島営業所を移転
- 6月 ● 福祉松江営業所を開設
- 7月 ● 福祉若国工場を開設
- 11月 ● 福祉下関出張所（現 福祉下関サテライト）を開設
- 12月 ● 福祉筑豊営業所を移転

- 東京スカイツリー開業
- 九州北部豪雨
- ロンドン夏季オリンピック・パラリンピック開催
- 山中伸弥医学博士ノーベル生理学・医学賞受賞
- 第2次安倍晋三内閣が発足

2012

- 2月 ● 本社1階に展示場開設
- 3月 ● 三代目社長水田明義会長就任、四代目社長に栗山広一郎就任
- 社長交代及び新体制発表会を開催
- 9月 ● 福祉西宮工場を開設
- 10月 ● 福祉長崎サテライトを開設

- アルジェリア人質拘束事件
- 三浦雄一郎氏がエベレストに史上最高齢で登頂
- 富士山が世界文化遺産登録
- 中国が東シナ海に防空識別圏を設定
- 「和食 日本人の伝統的な食文化」が世界無形文化遺産登録

2013

- 4月 ● 関連会社再編
- 産機事業をスタート
- 福祉吹田営業所を開設
- 福祉神戸営業所を開設
- 5月 ● 建設・福祉博多営業所を移転
- 9月 ● 福祉宮崎営業所を移転
- 11月 ● 北九州福祉営業所（現 福祉小倉営業所）を開設

- ソチ冬季オリンピック・パラリンピック開催
- ウクライナ騒乱
- 消費税率が8%に引き上げられる
- 御嶽山が噴火
- 赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏ノーベル物理学賞受賞

2014

- 1月 ● グラフィック製作室を移転
- 3月 ● 福祉奈良サテライト（現 福祉奈良営業所）を開設
- 4月 ● 福岡支社を移転
- 6月 ● 建設小倉南営業所を移転
- 建設・福祉長崎支店（現 建設長崎営業所）を移転

- 北陸新幹線（長野駅～金沢駅）開業
- 韓国でMERSコロナウイルス流行
- 安全保障関連法案可決
- ラグビー日本代表ワールドカップイングランド大会で南アフリカに勝利
- 日本人2氏ノーベル生理学医学賞・物理学賞受賞
- バリ同時多発テロ

2015

- 4月 ● 建設コールセンターを開設
- 建設神埼営業所を開設
- 5月 ● 福祉姫路営業所を開設
- 7月 ● 福祉鹿児島南サテライト（現 福祉鹿児島南営業所）を開設
- 11月 ● 福祉津山サテライト（現 福祉津山営業所）を開設

- マイナンバー制度スタート
- 北海道新幹線（新青森駅～新函館北斗駅）開業
- 熊本地震
- 三菱自動車工業データ不正問題
- 伊勢志摩サミット
- オバマ大統領広島訪問

2016

- 1月 ● 建設八女東サテライト（現 八女ハウスセンター）を開設
- 3月 ● 株式会社カナモトと資本業務提携契約締結
- 4月 ● 五代目社長に長崎学就任
- 福岡本部（現 営業推進本部）を開設
- 5月 ● 福祉佐賀営業所を開設
- 9月 ● 福祉博多営業所を移転
- 10月 ● 建設佐賀営業所を移転
- 11月 ● 福祉熊本営業所を開設

- バンタ「シンシン」出産、「シャンシャン」と命名
- 九州北部豪雨
- 将棋・藤井聡太四段29連勝

2017

- 1月 ● 建設大津営業所を開設
- 7月 ● 建設植木営業所を移転

- 米朝首脳会談
- 西日本豪雨
- 北海道地震
- 築地市場から豊洲市場へ移転
- 日産カルロスゴーン会長逮捕

2018

- 2月 ● ケアウェル安心株式会社を子会社化
- 5月 ● 福祉千葉営業所を開設
- 6月 ● 福祉呉サテライトを開設
- 建設朝倉営業所を開設
- 7月 ● 建設整備センター（現 機材センター）を開設
- 9月 ● 建設大野城営業所を開設
- 10月 ● 建設若松営業所を移転
- 新総合補償制度スタート
- 11月 ● 福祉大分営業所を移転

- フランスノートルダム大聖堂火災
- 明仁天皇退位し上皇へ、徳仁天皇即位
- 新元号「令和」スタート
- 香港で反政府デモ激化
- 消費税率が10%に引き上げられる
- 台風19号で大きな被害

2019

- 4月 ● コインランドリーをリニューアルオープン
- 7月 ● 特機営業部・特機工場を移転
- 建設八女営業所を移転
- 9月 ● 福祉横浜サテライト（現 福祉横浜営業所）を開設
- 11月 ● グラフィックSEC（現 グラフィック課）福岡店を開設

- 地質年代名に「チバニアン」正式決定
- 新型コロナウイルスで緊急事態宣言
- 菅義偉内閣が発足

2020

- 1月 ● 六代目社長に田中誠一就任
- 福祉鹿児島営業所を移転
- 2月 ● 久留米仮設営業所をリニューアルオープン
- 4月 ● 福祉長崎営業所・福祉長崎工場を移転
- 7月 ● 一般社団法人日本建設機械レンタル協会から「優良レンタル業者」として登録
- 9月 ● ケアウェル安心株式会社において一部事業譲渡
- 11月 ● 北九州仮設営業所をリニューアルオープン
- 12月 ● 福祉熊本営業所を移転



2016年 株式会社カナモトと資本業務提携契約締結



2017年 北海道へ社員研修旅行



2018年 ケアウェル安心株式会社を子会社化

建設機械器具レンタル業の登録証	
商号又は名称	株式会社 ニシケン
代表者の氏名	田中 誠一
登録番号	第(1)-1051
登録年月日	2020年7月1日
本社	福岡県久留米市宮ノ町若松1-9
登録有効期間	2025年6月30日
一般社団法人 日本建設機械レンタル協会	

2020年 一般社団法人日本建設機械レンタル協会から「優良レンタル業者」として登録

One KyushuプロジェクトとDX戦略の推進

ウェルビーイングの実現を目指し、 経営理念・企業理念を刷新



2022年 株式会社九州建産と合併



2023年 第一機械産業株式会社と合併

2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響下にありながらも、着実な事業運営を進めた。デジタル変革に即応するため、11月に「DX推進室」（現 DX戦略室）を開設した。

2022年は、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻や約30年振りの円安など、不透明な経済環境の中、九州のシェアアップを目的とした「One Kyushu」プロジェクトを推進し新たな成長への足掛かりを築いた。1月に同じカナモトアライアンスグループの株式会社九州建産と合併した。基礎機械や解体機械のレンタルにも進出しシナジー効果の創出に注力し、北部九州の営業拠点網を増やすことにより事業基盤の拡充に努めた。

2023年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により社会経済活動が正常化に向かう中、事業展開を加速。福祉関連事業では、8月に四国初進出となる徳島サテライトを開設した。11月には同じカナモトアライアンスグループの第一機械産業株式会社との合併により、建設事業部は九州南部の営業拠点網を拡充することとなった。「One Kyushu」プロジェクトの完遂により、経営資源の集中と管理部門の一元化による効率化・強化を図った。

2024年7月には、経営理念を「関わるみんなを笑顔にしたい」に刷新し、「Smile Rental」を企業理念として掲げた。また、経営理念・企業理念実現のため、従業員の行動指針として「まずは出来る方法を考えよう」、「ありがとうの輪を拡げよう」、「自分らしさを大切にしよう」という3指針をつくった。

建設関連事業においては、カナモトアライアンスグループとの連携を強化し、九州域内の大型プロジェクト案件獲得と更なるシェアの拡大、福祉関連事業においては、子会社ケアウェル安心株式会社との連携強化、戦略再構築と営業エリアの拡大によるシェアの拡大、産業開発事業においては、新規顧客開拓・商品多様化による業績拡大をはかるなど、各事業部門で着実な成長を遂げ、全社売上高は初めて300億円を突破し過去最高の業績となった。

新経営理念体系のもと、ウェルビーイングの実現を経営の基本としつつ、市場環境の変化に即応したDX戦略の推進、優秀な人材の確保と育成に努めていくことにより、更なる企業価値の向上を目指します。

経営理念
関わるみんなを笑顔にしたい

企業理念
Smile Rental

行動指針

- ・ まずは出来る方法を考えよう
- ・ ありがとうの輪を拡げよう
- ・ 自分らしさを大切にしよう

2024年 新経営理念発表

ニシケンのあゆみと国内外の出来事

社会情勢

- 東京夏季オリンピック・パラリンピック開催
- 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産登録
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録
- デジタル庁発足
- 岸田文雄内閣が発足
- 真鍋淑郎博士 ノーベル物理学賞受賞

2021

当社の動き

- 1月 ●福祉横浜営業所を移転
- 3月 ●福祉大分王子サテライト（現 大分王子営業所）を開設
- プロ野球 福岡ソフトバンクホークスのオフィシャルスポンサー協賛
- 5月 ●女性活躍推進法および次世代育成支援推進法（次世代法）に基づく一般事業主行動計画を策定
- 8月 ●アコルくんのペットショップサイトを開設
- 9月 ●福祉岡山営業所・岡山工場を移転
- 10月 ●福祉佐賀営業所を移転
- 11月 ●DX推進室（現 DX戦略室）を開設



2023年 徳島サテライトを開設 四国初進出

- 北京冬季オリンピック・パラリンピック開催
- 沖縄復帰50周年
- ロシア軍 ウクライナへ侵攻開始
- 安倍晋三元首相死去
- エリザベス英女王死去
- 西九州新幹線開業
- サッカー日本代表ワールドカップカタールで大会決勝トーナメント進出

2022

- 1月 ●株式会社九州建産と合併
- 基礎解体事業部を設置
- 2月 ●福祉埼玉営業所・埼玉工場を開設
- 3月 ●福祉福岡営業所を移転
- 4月 ●福祉山口営業所を移転
- 福祉山口工場を開設
- 9月 ●建設熊本南営業所を開設
- 10月 ●福祉堺営業所を移転



2023年 「令和5年7月豪雨」への災害対応支援企業として感謝状を授与

- ワールドベースボールクラシックで日本3度目の優勝
- 日銀総裁 植田和男氏就任
- チャールズ英国王 戴冠式
- 新型コロナウイルス感染症 感染症法上5類に引き下げ
- 令和5年梅雨前線による大雨災害
- 月探査機X線天文衛星搭載 H2Aロケット打ち上げ成功
- 将棋・藤井聡太九段史上初全8大タイトル制覇

2023

- 2月 ●福祉津山営業所を移転
- 4月 ●呉サテライト（現 呉営業所）を移転
- 5月 ●建設島原営業所を移転
- 6月 ●福祉久留米営業所・福祉久留米工場・メディカル推進室を移転
- グラフィック課福岡店を移転
- 8月 ●福祉徳島サテライトを開設
- 10月 ●西日本高速道路メンテナンス九州株式会社から「令和5年7月豪雨」への災害対応支援企業として感謝状を授与
- 健康づくり優良事業所認定
- 第1回ニシケンカップを開催（佐世保国際CC）
- グラフィック課を移転
- 11月 ●第一機械産業株式会社と合併

- 能登半島地震
- H3ロケット打ち上げ成功
- TSMC(台湾積体回路製造)が熊本に工場開所
- 日銀マイナス金利解除
- 新紙幣20年ぶりに発行
- パリ夏季オリンピック・パラリンピック開催
- 石破茂内閣が発足
- 日本原水爆被害者団体協議会ノーベル平和賞受賞
- 米大統領選でトランプ氏が勝利

2024

- 2月 ●基礎解体事業部を建設事業部に統合
- ワイガヤルームを設置（久留米本社）
- 4月 ●サックスフェアinさりしまを開催
- 6月 ●「オフィスカジュアル」の導入及び「さん付運動」推進
- サックスフェアinかのやを開催
- 福祉神戸営業所を移転
- 福祉横浜営業所を移転
- 7月 ●新経営理念発表
- 9月 ●第2回ニシケンカップを開催（福岡サンレイクGC）
- 10月 ●健康づくり優良事業所ゴールド認定
- 鹿児島基礎解体営業所を移転
- 11月 ●福祉西条サテライトを開設
- 建設神埼営業所をリニューアルオープン
- 第1回ニシケンOBOG会を開催



2023年 第1回ニシケンカップを開催



2024年 サックスフェアinさりしまを開催



2024年 健康づくり優良事業所ゴールド認定



2024年 第1回ニシケンOBOG会を開催

会社概要

- 会 社 名 株式会社ニシケン
- 英 文 社 名 NISHIKEN CO.,LTD.
- 設 立 1960年(昭和35年)11月15日
- 久 留 米 本 社 〒839-0804
福岡県久留米市宮ノ陣町若松
1番地の9
TEL 0942-35-5840
FAX 0942-35-6355
- 福 岡 本 社 〒813-0062
福岡県福岡市東区松島三丁目
21番7号
TEL 092-623-2323
FAX 092-623-2307
- 代 表 者 代表取締役社長
田 中 誠 一
- 資 本 金 1,139百万円
- 従 業 員 数 767人
- 事 業 内 容 建設機械・基礎機械・解体機械・
仮設資材・トンネル用機械・情報
化施工・環境商品のレンタル・
福祉用具のレンタル卸・販売卸、
メディカル商品のレンタル・販売、
イメージグラフィックス製品・
施工、ペットショップ・コイン
ランドリーの運営・コンピュー
ターシステムの導入指導および
保守管理
(2024年11月1日現在)

■ ホームページ <https://www.r-nishiken.co.jp/>

■ 公式Instagram



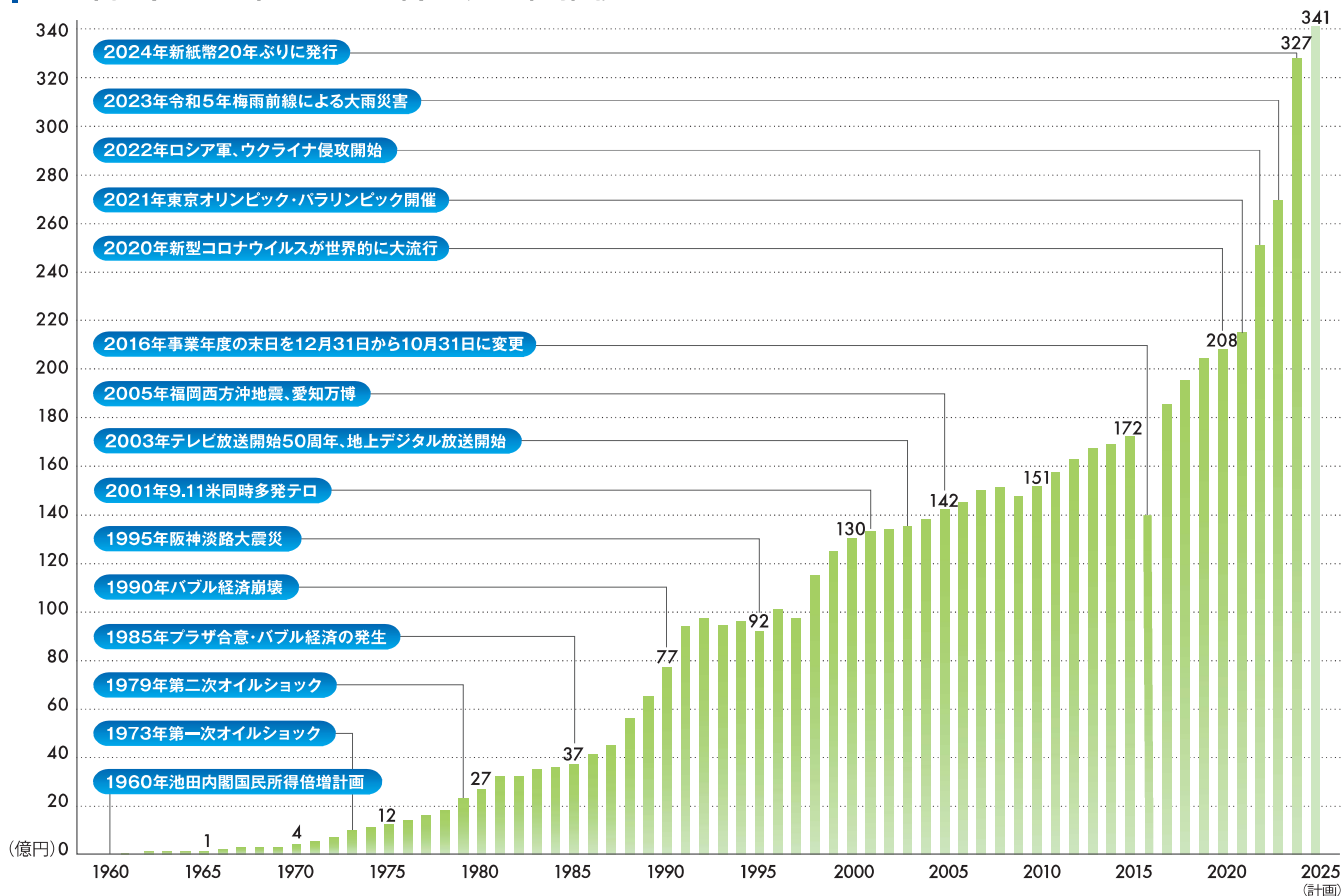
役員一覧

代表取締役社長 社長執行役員	田 中 誠 一	営業統括本部長 管理本部長
取 締 役 会 長	栗 山 広 一 郎	営業推進本部長
取 締 役 常 務 執 行 役 員	太 田 新 治	産業開発事業部長
取 締 役 常 務 執 行 役 員	水 田 智 之	福祉事業部長
取 締 役 常 務 執 行 役 員	坂 本 実	建設事業部管掌
取 締 役 執 行 役 員	藤 谷 等	建設事業部長
取 締 役 執 行 役 員	岡 田 誉 文	建設事業部 広域営業部長
取 締 役 (非 常 勤)	金 本 寛 中	
取 締 役 (非 常 勤)	金 本 哲 男	
取 締 役 (非 常 勤)	三 野 宮 朗	
社外取締役(非常勤)	道 永 幸 典	
社外取締役(非常勤)	佐 伯 勉	
社外監査役(非常勤)	梶 島 修	
監 査 役 (非 常 勤)	金 本 栄 中	
監 査 役 (非 常 勤)	藤 原 靖 仁	
執 行 役 員	良 永 友 彦	建設事業部副事業部長 九州北部地区部長
執 行 役 員	中 野 信 知	福祉事業部副事業部長 関東・関西地区 ・メディカル推進室管掌
執 行 役 員	福 本 峰 夫	福祉事業部副事業部長 九州・中四国地区部長 九州南部福祉ブロック長
執 行 役 員	境 幸 助	情報システム部長 事務センター管掌 内部統制監査室管掌
執 行 役 員	石 内 宏 明	債権管理部長・業務部長
執 行 役 員	城 戸 啓 次	建設事業部副事業部長 九州南部地区部長

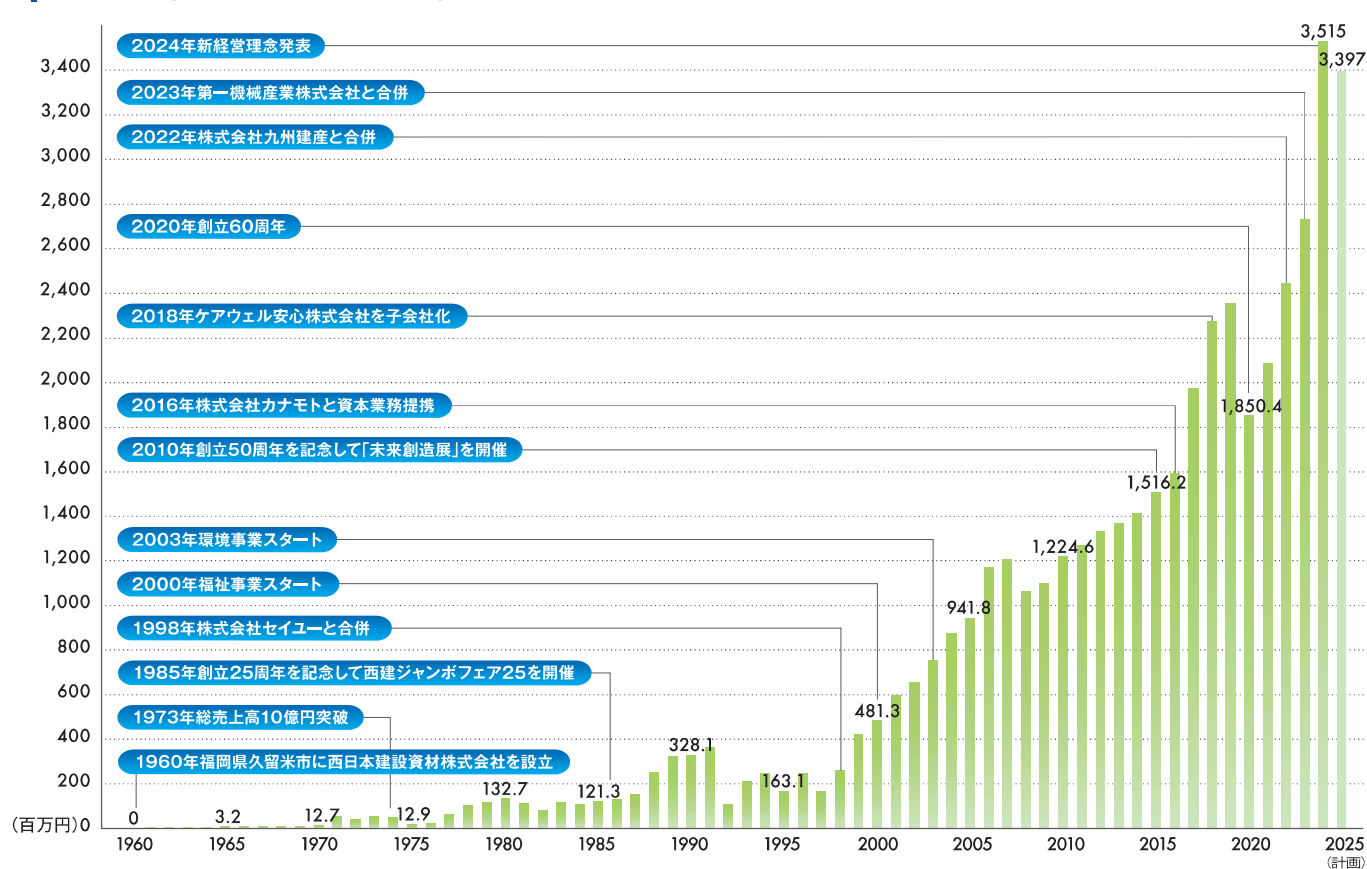
Trends in sales for 65 years

売上高の推移

65年間(1960年～2025年)の売上高推移



65年間(1960年～2025年)の経常利益推移





■ 久留米本社
〒839-0804 福岡県久留米市宮ノ陣町若松1番地の9
TEL 0942-35-5840 FAX 0942-35-6355

■ 福岡本社
〒813-0062 福岡市東区松島三丁目21番7号
TEL 092-623-2323 FAX 092-623-2307

■ H P <https://www.r-nishiken.co.jp>